



「里山まるごと花と雑木による木漏れ日計画」



今..
里山は
高齢化
人口減少
耕作放棄などにより

美しい里山が
全国的に姿を消そうとしています

そんな状況を
緑や花の力で
鹿野から変えてみたい
子供達に希望を繋げたい
そんな思いから

今..
出来る人が 出来る事を
何処にもあって 何処にも無い
笑顔あふれる
オンリーワン地域を目指し活動しています。



「鹿野の風」プロジェクト

〒745-0301 山口県周南市大字大潮 659-1

(1) 活動地域の概況、特徴、まちづくりの課題など

■山口県の北部に位置する鹿野は60年前には8千の人口がありました、しかし現在は3千を切り10年後には2千人近くに減少すると言われ空家も増え続けています。抜本的な手立てをしなければ過疎は確実に進み事態は深刻です、しかし視点を変え山間地の不便さは都会に住む人からすれば魅力なのです。

(2) まちづくり活動の背景、契機、経緯、ヒストリーなど

■そこで10年前に硬直した地域内に新しい風を、周辺に鹿野の風を送り込もうと「鹿野の風」プロジェクトの名で会を設立、我々は鹿野の自然を徹底的に磨き価値を高める「里山まるごと木漏れ日計画」を進め、希望と笑顔あふれる街づくりに挑戦しています。

(3) まちづくり活動の理念、目標、コンセプトなど

■我々地域にはコンビニも無い山間地です、その分とても自然が豊で高速道路を利用すれば1時間少して広島や福岡にたどり着きます。しかし自然と都会に近い環境を活かさず、潜在的な力だと感じているのが山里に既にカフェが7店舗ある事です。多少の時間を掛けても地域価値を高めイメージ戦略と統一感を進める為に木漏れ日計画を進め、地域全体に「雑木を植え」「木漏れ日ベンチ」を置き、更に里山らしいオープンガーデン開催をする事で、持続的で質の高い交流人口を増やし、近い将来「日本一のカフェの里山」を目指すしたいと考え進めています、これが我々が考えている持続可能なまちづくりです。

(4) まちづくり活動の内容、特色、今後の展開など

■木漏れ日計画・活動その1 = 雑木植栽事業（地域の価値と統一感を高める）

8年間で30ヶ所89本のコナラ等の雑木を店舗や事業所、空地に等に毎年10数本の雑木を植える

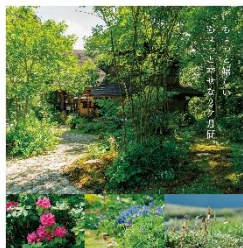


■木漏れ日計画・活動その2 = 木製ベンチ設置事業（イメージ戦略と統一感）

2年前から木製のベンチを35脚組立て、雑木植栽場所に設置



■木漏れ日計画・活動その3 = 里山オープンガーデン（地域価値を高め発信させ、花や自然愛好家を引寄せ）



里山オープンガーデンの2021
2021.4.1(木)～5.31(日)

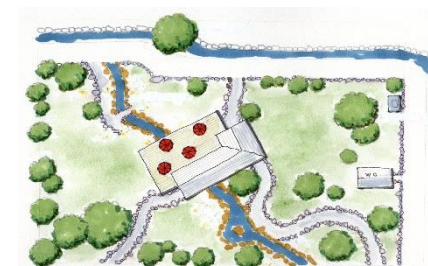
2年前から開催し今年も田舎にも関わらず26軒の庭を開放する参加が集まり大反響であった。同時に5ヶ所で野外コンサートの開催を行うメイン会場では1ヶ月で5000人もの見学者があり、雑木・ベンチ・オープンガーデンと融合した相乗効果は絶大です。



※オープンガーデンの特徴は、全国で行われているバラ等の園芸種ではなく原種の山野草を中心にした派手ではないが、素朴で飽きの来ない里山らしいオープンガーデンを目指しています、更に我々はマスコミ取材による発信はせず、マップによる手渡しで告知、本当に自然と花が好きの人だけが地域に来て欲しいと願い進めています。

(5) まちづくり活動の主体、組織、連携体制など

■雑木植栽・ベンチの設置・オープンガーデン融合による活動は大きな反響を呼び、企業や財団、行政関係者にも届き今後地域全体で活動を推し進める為の大きな節目を迎え、現在は6団体の連携で活動を進めています。特に鹿野支所の移転に伴い、跡地の活用で我々が主体となり「木漏れ日の森&チャレンジカフェ」を提案し、2025年度完成に向けて大きく活動は前進しようとしています。この「木漏れ日の森&チャレンジカフェ」には大きな期待



支所跡地の利用提案図

(6) まちづくり活動の費用、財源、収益など

■2021年度の会計は支出1734千円です（財源は大手企業や財団からの助成金が主体）

1, マップ・ポスター関連	15000枚	624,593	1, コナラ・夏椿・小熊笹	8本	377,407
2, 告知チラシ関連費	2400枚	50,113	2, 小熊笹	200ポット	39,600
3, 看板関連		89,032	3, 機械掘り	2ヶ所	50,000
4, 幟関連(黄色いフラッグ)	100枚+α	170,500			
5, 木漏れ日ピンバッジ	×200個	115,830	1, 雑費(通信費/事務用品他)		34,613
6, HP製作費		70,000	2, 鹿野未来図のイラスト化		100,000
7, マスク(コロナ対策費)	26箱	12,974			
計		1,133,042	計		601,620



木漏れ日ピンバッジを製作し、オープンガーデン来園者に渡し、同時に名簿を作成し次回のオープンガーデンの案内状をお送りする。

(7) まちづくり活動の成果、地域への貢献など

■《成果》

高齢化や人口減で確実に衰退して行く状況化、行政が中心に交流人口を増やす目的で、過去に色々と仕掛けをしましたが全て一過性に終わり、多くの住民が諦めムードです。しかしこの2年の我々が街中に雑木を植え、ベンチを設置し、オープンガーデン開催により外から大きな反響が起こり、多くの人々が見押し寄せる姿を実際に見て、住民や行政の意識も大きく変わろうとしています。

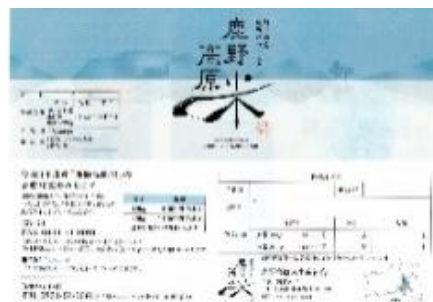
■《貢献》

私達は、一番心配しているのが人口減と高齢化により耕作放棄地が増えている事です、美しい田園風景が失われて行こうとしています。田舎の風景はお百姓さんが田畑の周辺を毎日のように草刈りをされているお陰です。しかし米作りは大きな労力と赤字により担い手がないのが現状です。そこで私達は米作りに希望をと考え米の

ベランド化を進めています。

米ブランド化する為にオープンガー

デン来園者に2合の米を袋詰めして無料で750人に渡し、高原で出来た美味しいお米を食べ比べして頂く仕掛けを行い、地域のお米ファンを増やす試みを行っています。



■最後に成りましたが、この様な活動を我々民間がボランティアで行わないと実際には進まないのです。誰かが出来る時に出来る人が出来る事を行えば、必ず大きな輪が広がり、徐々に物事が動き始めます。

冒頭でも述べていますが、特に全国の山間部は高齢化と人口減で消滅集落が増え続けています、美しい原風景が失われようとしています。我々の活動は身近で足元にある資源を組合わせ、行政に頼らず自分達の地域は自分達で守るを基本的にし、地域の弱みを強みに変える事で希望の地にしようと進めています、いつの日か他地域が対策に苦しんでいる時、我々の活動がヒントに成れるような夢見て頑張ります。